

令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

社会福祉法人 津野町社会福祉協議会

事業実績の概要

「住民主体の福祉のまちづくり」を基本理念に、地域住民をはじめ民生児童委員、ボランティア、関係機関等と連携しながら、地域の福祉課題に対応するさまざまな事業に取り組みました。

住民参加による地域福祉活動では、住民が主体的に福祉課題に関わり、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して、見守りや支え合いの活動を推進しました。また、あったかふれあいセンターや地域サロンなど、多世代が参加できる地域交流の場の運営や支援を行い、地域のつながりづくりにも寄与しました。

一方で、生活困窮者自立相談支援事業や権利擁護事業などを通じて、経済的・精神的に不安定な状況にある方への相談支援を実施し、必要な社会資源や制度への円滑なつなぎと伴走支援に努めました。

《令和6年度重点的な取り組みの評価》

1. 福祉委員活動の推進

「見守る・知らせる・つながる」をキーワードに福祉委員がそれぞれの地域で具体的な見守り活動を実践できるよう福祉座談会や福祉委員・民生児童委員合同研修会などを通して福祉委員の役割の周知・啓発を行いました。

福祉座談会の半年後に実施した振り返りでは、福祉委員と民生児童委員、地区長がつながり、住民の間で見守り意識が高まりつつある様子がうかがえました。

2. 社協発展・強化計画策定のための基盤づくり

令和6年度は、相談支援事業所の運営や本所の事務所移転などについて行政から提案があり、本会の今後の事業運営や組織体制について職員会や事務局検討会において検討を重ねました。行政社協連絡会等を通じて、事務局としての要望や提案を文書で回答しましたが、明確な方向性は定まっていません。

これらの課題は、社協発展・強化計画策定における重要項目であるため、次年度以降も継続して協議を重ねていく必要があります。

3. 災害対応と危機管理体制の強化

介護サービス事業所、障害福祉サービス事業所の事業継続計画を足掛かりとして危機管理体制の強化を図る取り組みを始めましたが、初期行動計画の検証には至りませんでした。

また、行政との間で災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定締結に向けた話し合いを進めていく中で、災害時の支援体制を構築していく必要性を改めて実感しました。

1. 法人運営

(1) 会務の運営

理事会、評議員会、監事がそれぞれの機能を果たしながら、事務局と一体となって会務の運営にあたった。

特に、令和6年度はマイクロバスの取得に向けた動きや相談支援事業所の運営、津野町総合保健福祉センターの改修への対応など役員と評議員、職員が課題を共有しながら意見の集約を図った。

ア) 理事会

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和6年 6月7日(金) 津野町総合保健 福祉センター	第1回理事会 理事7名 [監事2名、 事務局7名]	≪議案≫ 第1号 令和5年度事業報告 第2号 令和5年度収支決算 第3号 令和6年度第1次補正予算 第4号 就業規程の一部改正 第5号 理事候補者の選定 第6号 ボランティア活動・福祉教育 推進事業助成金交付対象事業の 承認 第7号 評議員会の招集 ≪協議報告≫ ①マイクロバスの取得について ②高幡広域社協連絡協議会災害時支援 協定の締結について ③相談支援事業所の運営について ④カップケーキ等の自主回収について
令和6年 10月24日(木) 津野町老人 福祉センター	第2回理事会 理事8名 [監事2名、 事務局8名]	≪議案≫ 第1号 非常勤職員給与並びに旅費等 規程の一部改正 ≪協議報告≫ ①会長職務執行状況報告 ②令和6年能登半島地震における災害 ボランティアセンター運営支援活動報 告 ③津野町の相談支援事業所について (町_健康福祉課長からの説明) ④津野町総合保健福祉センターの改修 について(町_健康福祉課長からの説 明) ⑤マイクロバスの取得について ⑥共同募金歳末事業の資金づくりにつ いて

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和6年 12月18日(水) 津野町総合保健 福祉センター	第3回理事会 理事8名 [監事2名、 事務局8名]	《議案》 第1号 令和6年度第2次補正予算 第2号 評議員選任・解任委員の選任 第3号 評議員会の招集 《協議報告》 ①会長と津野町長との会談内容の報告 ②中間監査報告 ③マイクロバスの取得について ④歳末たすけあい募金の状況について ⑤歳末特別弁当について ⑥福祉サービス利用援助事業現地調査 結果報告
令和7年 3月12日(水) 津野町老人 福祉センター	第4回理事会 理事8名 [監事2名、 事務局7名]	《議案》 第1号 令和6年度第3次補正予算 第2号 令和7年度事業計画 第3号 令和7年度収支予算 第4号 育児・介護休業等に関する規 程の一部改正 第5号 評議員会の招集 《協議報告》 ①会長職務執行状況報告 ②津野町総合保健福祉センター改修中 の本所事務所等の移転先について ③マイクロバスの納車等について ④合同会社「ほっと」について ⑤葉山茶生産組合からのご寄附につい て

イ) 評議員会

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和6年 6月25日(火) 津野町老人 福祉センター	第1回(定時) 評議員会 評議員10名 [会長、事務局2名]	《議案》 第1号 令和5年度事業報告 第2号 令和5年度収支決算 第3号 令和6年度第1次補正予算 第4号 理事の選任 《協議報告》 ①令和6年度第1回理事会報告 ②マイクロバスの取得について

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和6年 12月23日(月) 津野町総合保健 福祉センター	第2回評議員会 評議員9名 [会長、事務局2名]	《議案》 第1号 令和6年度第2次補正予算 《協議報告》 ①令和6年度第2回理事会報告 ②令和6年度第3回理事会報告 ③マイクロバスの取得について
令和7年 3月24日(月) 津野町老人 福祉センター	第3回評議員会 評議員8名 [会長、事務局2名]	《議案》 第1号 令和6年度第3次補正予算 第2号 令和7年度事業計画 第3号 令和7年度収支予算 《協議報告》 ①令和6年度第4回理事会報告 ②令和6年度第3回理事会報告

ウ) 監査

実施日 場所	監査の名称 出席者	監査対象及び意見等
令和6年 5月28日(火) 津野町総合保健 福祉センター	定例監査 監事2名 [会長、事務局3名]	《監査対象》 ①令和5年度事業報告 ②令和5年度計算関係書類及び財産目録 《意見等》 ①年度末に予算の流用をすることがないように平時から予算管理をしっかり行い、計画的な予算執行に努めること ②委託業務が社協の本来業務を圧迫することがないように、行政としっかり話し合い、事業を実施すること
令和6年 11月14日(木) 津野町総合保健 福祉センター	令和6年度中間監査 監事2名 [会長、事務局3名]	《監査対象》 ①令和6年度前期事業報告 ②会計伝票、月次試算表等 《意見等》 ①地区入りしていない住民に対する会員の募集方法に工夫が必要 ②各種のマニュアルや規程は常にチェックし、見直し・改善を図ること

(2) 透明性の確保と適切な組織運営

社会福祉法人としての公共性、公益性を自覚し、関係法令、定款及び内部規程を順守することにより、住民から信頼される組織運営を目指した。

また、法人運営の透明性を高めるため、適正な情報公開と適切なガバナンスの構築に努めた。

(3) 事務局の組織体制と機能

本所、支所、就労支援事業所にそれぞれ職員を配置し、業務にあたった。地域福祉事業は、3人の地域担当職員を中心に各種事業を推進した。

また、津野山養護老人ホーム組合より訪問介護員1名を受け入れ、福祉サービス部門に配置した。

<令和7年3月末現在の職員体制>

本 所	事務局長（総務部門）	1名	支 所	支所長【兼務】	
	※支所長兼務			主監（地域福祉部門）	1名
	主監（相談支援部門）	1名		※CSW、あつたかふれあいセンター総括	
	※CSW、地域活動支援センター施設長			非常勤職員[フルタイム]	
	主任（地域福祉部門）	1名		あつたかふれあいセンター	3名
	※CSW、就労支援事業所管理者兼務			福祉事業職員	1名
	主任（福祉サービス部門）	1名		非常勤職員[パートタイム]	
	※訪問介護・入浴介護事業所管理者			サロン送迎 ※兼務	1名
	主幹（総務部門）	1名		配食配達員 ※兼務	1名
	主事（地域福祉部門）	1名		日常生活支援員	1名
	派遣（福祉サービス部門）	1名	就 労 継 続 支 援 事 業 所	管理者【兼務】	
	非常勤職員[フルタイム]			非常勤職員[フルタイム]	
	あつたかふれあいセンター	3名		サービス管理責任者	1名
	地域活動支援センター	1名		目標工賃達成指導員	1名
	訪問介護員	1名		職業指導員	1名
	福祉事業職員	1名		生活支援員	2名
	非常勤職員[パートタイム]			非常勤職員[パートタイム]	
	看護師	1名		生活支援員	1名
	訪問介護員	2名		送迎車運転手	3名
	配食配達員	3名			
	入浴運転手 ※兼務	1名			
	日常生活支援員	1名			
部 門		正・派遣職員 <按分>	非常勤_フル <実人員>	非常勤_パート <実人員>	
法 人 本 部	総務	2.0名			
	地域福祉	3.0名	8名		
	相談支援	0.5名		2名	
	福祉サービス	2.0名	2名	6名	
就労継続支援事業		0.5名	5名	4名	
計		8.0名	15名	12名	

(4) 会員制度

7月に会員募集を行った。個人会員については、地区長や班長、特別会員については町内の企業・団体等のご理解とご協力により会員を募ることができた。

<個人会員>

区 分	会員数	加入口数	金 額
東地区	1,141	1,179	589,500円
西地区	517	526	263,000円
合 計	1,658	1,705	852,500円

<特別会員>

区 分	会員数	加入口数	金 額
企 業	29	32	160,000円
団体等	6	6	30,000円
合 計	35	38	190,000円

(5) 災害対応と危機管理体制

介護サービス事業所及び障害福祉サービスが策定している事業継続計画と初期行動計画が連動し、実効性のある計画となるよう検証・見直しを図っていくことを確認した。

(6) その他

法人運営部門として、次の業務にあたった。

- ・ 津野町老人福祉センターの管理運営
- ・ 高幡広域社協連絡協議会との連携・協力
- ・ 苦情受付体制の整備と適切な対応
- ・ 日本赤十字社事業への協力

2. 住民参加による地域福祉活動

(1) 福祉委員活動

福祉委員がそれぞれの地域で見守り活動を実践できるように福祉座談会等を通じて福祉委員の役割や活動内容の周知・共有を図った。また、具体的な行動を通してイメージを共有できるように福祉パトロールへの参加を呼びかけるとともに、担当民生児童委員との顔の見える関係づくりを推進した。

1月には地区長より新たな委員を推薦していただき、委嘱状を交付するとともに福祉委員・民生児童委員合同研修会を開催した。

<令和7年3月末現在の福祉委員の状況>

東地区：52地区_91名

西地区：29地区_62名

<福祉委員・民生児童委員合同研修会>

開催日：令和7年3月13日（木）

場 所：津野町福祉交流センター

内 容：①説明 「福祉委員制度について」

②寸劇 「津野町での見守り活動」

③講演 「津野町での見守り活動はどんな感じ？」

講師：高知県立大学 社会福祉学部

教授 西梅 幸治 氏

参加者：福祉委員39名、民生児童委員18名

(2) 福祉座談会

福祉委員の役割の周知・共有、また、民生児童委員と福祉委員、地区長がつながることにより小地域での見守り活動を充実させていくことを目指して町内20会場で福祉座談会を開催した。座談会では、一人暮らし高齢者や気になる世帯など、地域の状況を確認し合い、参加者で情報を共有することにより、地域での見守りの意識を持ってもらえるように努めた。

また、今後の活動につなげるため「福祉座談会～あれから半年～」を4会場で開催し、福祉委員活動の振り返りや活動の周知等について意見をいただいた。

<福祉座談会の開催状況>

開催日	対象地域	参加 実人数	参加者内訳 ※重複あり			
			民生 委員	福祉 委員	地区長	その他
4月22日(月)	新田、保井川、保井川 団地	10	1	7	2	0
4月23日(火)	郷地区	14	2	8	7	1
4月24日(水)	船戸総地区	15	2	7	7	2
4月26日(金)	宮谷、木桑	8	1	5	2	0
5月1日(水)	鳥出川、力石	7	1	5	1	0
	新土居地区	8	1	3	3	1
5月2日(木)	赤木、桑の川中・上、 梶足	5	1	2	3	1
5月3日(金)	高野	12	1	8	1	2
5月7日(火)	北川、大古味	9	1	5	2	1
5月8日(水)	下野、芳生野奈路	4	1	1	2	0
	船野、舞の川、栗の木 、東倉川	8	1	5	2	0
5月9日(木)	姫野々地区	8	2	3	3	0
	三間川、樺の川、西谷	7	1	4	2	0
5月10日(金)	藤の川、大野、鍵野々	5	1	2	1	1
5月13日(月)	上井田、久保川	6	1	4	1	0
5月14日(火)	白石地区	13	1	7	5	1
5月15日(水)	永野地区、貝の川	12	1	7	5	0
5月16日(木)	杉ノ川地区	8	1	3	4	0
5月17日(金)	東・西黒川、白河瀬	6	1	3	2	0
7月10日(水)	床鍋	6	1	4	0	1
合 計		171	23	93	55	11

<福祉座談会～あれから半年～の開催状況>

開催日	対象地域	参加 実人数	参加者内訳 ※重複あり			
			民生 委員	福祉 委員	地区長	その他
11月6日(水)	旧精華小学校区 (白石地区除く)	19	5	7	7	0
11月26日(火)	久保川	7	1	1	1	4
11月28日(木)	郷地区	9	1	5	4	2
11月30日(土)	上井田	11	1	1	1	8
合 計		46	8	14	13	14

(3) 福祉パトロール

70歳以上のひとり暮らし高齢者や75歳以上の高齢夫婦世帯等を対象として、緊急時の連絡先やかかりつけの病院等について聞き取りを行う福祉パトロールを民生児童委員を中心に福祉委員、地区長、関係団体等と連携して実施した。

福祉パトロール実施後には、安心・安全見守り台帳の登録・更新するとともに「お守りカード」を512世帯638人に配布した。

<福祉パトロールの実施状況>

実施日	民生児童委員	協力者 実人数	協力者内訳 ※重複あり			
			民生 委員	福祉 委員	地区長	その他
6月24日(月)	田中 陽子	8	1	1	1	5
	三本 美鈴	3	1	1	0	1
6月26日(水)	西森 盛幸	2	1	0	0	1
	今橋 正直	4	1	2	0	1
6月27日(木)	上岡 聖功	6	1	2	1	2
	明神 孝夫	1	1	0	0	0
	森山 生居子	3	1	1	0	1
7月2日(火)	松岡 昌子	3	1	1	1	1
	上岡 昭夫	9	1	3	1	4
	戸田 恵美子	5	0	1	1	3

実施日	民生児童委員	協力者 実人数	協力者内訳 ※重複あり			
			民生 委員	福祉 委員	地区長	その他
7月 5日(金)	市川 純子	4	1	0	1	2
	大崎 順子	2	1	0	1	0
	西森 文啓	2	1	0	1	0
	片岡 友実	5	1	1	1	2
	前野 富士男	4	1	1	2	0
7月 8日(月)	戸田 実千代	2	1	1	0	0
	橋田 卓実	6	1	2	0	3
	戸田 知枝	1	1	0	0	0
7月12日(金)	大崎 美保子	2	1	1	0	1
7月13日(土)	大窪 加代	6	1	4	3	0
	石丸 吉一	3	1	1	1	1
7月17日(水)	岡崎 好友	9	1	3	1	4
7月18日(木)	高橋 保章	4	1	2	0	1
	西内 香織	4	1	1	1	1
	大崎 芳	11	1	5	2	4
合 計		109	24	34	19	38

(4) 地域サロン【町委託事業(※一部)】

地域主体のサロン活動を円滑に進めてもらえるようにサロン世話人連絡会、地域サロン交流会などを開催した。また、サロンを訪問したり、世話人さんからの相談に柔軟に対応することで地域サロンの運営をサポートした。

<地域サロンの状況>

	東地区	西地区	合 計
サ ロ ン 数	22	9	31
実 施 回 数	539	182	721
参加者延べ数	4,657	1,795	6,452

<サロン世話人連絡会>

実施日：令和6年4月11日（木）

参加者：【昼の部】10サロン_18名<津野町老人福祉センター>

【夜の部】13サロン_25名<津野町総合保健福祉センター>

<サロン決算大相談会>

実施日時：①令和6年4月12日（金） 14：00～16：00

②令和6年4月16日（火） 9：00～11：00

③令和6年4月17日（水） 17：00～19：00

<地域サロン交流研修会>

実施日：令和6年6月25日（火）

参加者：10サロン_16名

内容：「クラフトテープでかご作り」 講師 岡崎友美子 氏

<サロンお茶会>

実施日：令和7年2月14日（金）

参加者：【昼の部】7サロン_12名<津野町老人福祉センター>

【夜の部】9サロン_17名<津野町総合保健福祉センター>

(5) ほっとサービス

地域住民の参加と協力により、高齢者等の日常生活の支援を行った。サービス提供に至らなかったケースについては、関係機関と連携してその後の対応にあたった。

<ほっとサービスの実施状況>

実施日	地区名	協力者数	延べ稼働時間	サービス内容
8月11日（日）	大野	2	2.0時間	粗大ゴミの処理
11月25日（月）	三間川	4	2.0時間	庭木のせん定
12月22日（日）	新田	1	1.0時間	粗大ごみの処理

※受付総件数：5件

(6) ふれあい配食サービス

東地区では毎月4回、西地区では毎月3回を原則として、住民ボランティアの協力により、一人暮らし高齢者等の自宅へ昼食の弁当を配達した。

<ふれあい配食サービスの実施状況>

区 分	月	提供回数	利用者 実人員	提供 食数	ボランティア延べ数		
					調理	配達	合計
東地区	4月	4	97	378	30	50	80
	5月	4	97	360	30	54	84
	6月	4	91	346	28	50	78
	7月	4	90	336	23	51	74
	8月	3	88	250	19	38	57
	9月	4	89	327	29	51	80
	10月	4	89	329	24	51	75
	11月	4	87	320	27	50	77
	12月	3	85	247	22	37	59
	1月	4	84	314	26	50	76
	2月	4	84	318	26	50	76
	3月	4	82	301	27	49	76
	小 計	46	1,063	3,826	311	581	892
	西地区	4月	3	62	170	18	23
5月		3	65	175	16	22	38
6月		3	62	164	17	21	38
7月		3	63	169	16	23	39
8月		2	56	98	10	13	23
9月		3	60	159	15	19	34
10月		3	57	155	17	19	36
11月		3	57	155	18	17	35
12月		2	53	94	11	12	23
1月		3	58	155	13	25	38
2月		3	58	162	17	18	35
3月		3	60	172	19	22	41
小 計		34	711	1,828	187	234	421
合 計			80	1,774	5,654	498	815

(7) あったかふれあいセンター【町委託事業】

町から事業を受託し、町内2拠点で事業を実施した。だれもが気軽に集える拠点として、地域における交流・活躍の機会の創出、ともに支え合う関係性の構築を目指して取り組んだ。また、地域サロンや地域団体に出向き、拠点の周知活動やつながりづくりを行った。

■ あったかふれあいセンター「風のさと」

[集い]

拠点 サテライト名	開所 日数	利用者延べ数				
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合計
拠点「風のさと」	238	843	72	316	67	1,298
㊦鶴松の風	49	970	0	0	0	970
㊧せんだん	47	891	0	0	0	891
合計		2,704	72	316	67	3,159

[集い以外の機能の利用者延べ人数（拠点合計）]

送迎	相談	訪問	つながぎ	生活支援
1,645	14	294	62	181

■ あったかふれあいセンター「星のさと」

[集い]

拠点 サテライト名	開所 日数	利用者延べ数				
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合計
拠点「星のさと」	238	164	16	1,571	55	1,806
㊨いちょうの郷	42	447	0	0	0	447
㊩くつろぎ家	48	457	6	0	0	463
㊪いらすのさと	46	405	0	0	0	405
合計		1,473	22	1,571	55	3,121

[集い以外の機能の利用者延べ人数（拠点合計）]

送迎	相談	訪問	つながぎ	生活支援
551	34	169	17	28

(8) 共同募金事業への協力と連携

高知県共同募金会津野町共同募金委員会の事務局として、運営委員会、配分審査委員会を開催するとともに、共同募金推進計画に基づき募金活動を行った。

また、住民ボランティア、集落活動センター、地域団体等の協力を得て、高齢者世帯や生活困窮世帯に歳末特別弁当をお届けした。

<赤い羽根共同募金>

募金実績額：1,174,469円

本会が受けた助成額：850,000円

助成を受けて実施した事業：ふれあい配食、福祉パトロール、社協だより、歳末特別弁当

<歳末たすけあい募金>

募金実績額：94,679円

本会が受けた助成額：94,679円

助成を受けて実施した事業：歳末特別弁当

<歳末特別配食の実施状況>

実施日	対象地区 (実施主体)	食数	協力者数	
			調理	配達
12月24日(火)	中央地区 (社協_支所)	78	17	12
12月25日(水)	新土居～西谷、赤木～大西 (社協_本所)	159	28	24
	船戸地区 (集落活動センターふなど)	46	7	7
12月26日(木)	姫野々～床鍋 (久保川生活改善センター)	78	6	11
12月28日(土)	郷地区 (集落活動センター奥四万十の郷)	30	16	8
合 計		391	74	62

※食数のうち生活困窮者の数：21食

<能登半島地震災害義援金>

受入義援金実績額：11,801円

3. 福祉教育・ボランティア活動

(1) 社協だより

本会の組織体制や事業、経営状況の公開に加え、福祉情報や地域福祉活動の実践を地域住民に発信し、福祉意識の向上につなげるため2か月に1回、社協だより「あくしゅ」を発行し、町内全戸に配布した。

(2) 認定子ども園・学校連携

3人のコミュニティーソーシャルワーカーが町内の認定子ども園、小・中学校が実施する地域との交流事業や地域学校協働本部の取り組みに参加し、連携して福祉活動に取り組んだ。

また、町内の小・中学校が行う地域でのボランティア活動や福祉教育、伝承活動の取り組みを支援することを目的として本会の会費を活用して助成を行った。

<認定子ども園・学校関係会議等への参加状況及び事業の実施状況>

学校名等	月 日	事業又は会議名
葉山中学校区 (にじいろ園、葉山小学校、 葉山中学校)	10月 2日	①幼・小・中合同防災学習
葉山小学校	5月28日	①第1回学校運営協議会
	7月 9日	②第2回学校運営協議会
	10月22日	③第3回学校運営協議会
	11月13日	④5年生もちつき
	12月 6日	⑤3年生高齢者疑似体験
	1月22日	⑥3年生昔の暮らし体験打合せ
	1月29日	⑦3年生昔の暮らし体験
	2月18日	⑧第4回学校運営協議会
葉山中学校	5月30日	①第1回学校運営協議会
	10月10日	②第2回学校運営協議会
	2月21日	③第3回学校運営協議会
東津野中学校区 (さくらんぼ園、中央小学校、 東津野中学校)	5月 9日	①第1回学校運営協議会
	11月19日	②第3回学校運営協議会
	3月4日	③第4回学校運営協議会
中央小学校	7月12日	①拡大支援会
	11月15日	②拡大支援会

＜ボランティア活動・福祉教育推進事業助成金交付事業助成の概要＞

学校名	事業内容	交付決定額
葉山小学校	芋づくり・餅つき・花植え活動を通じた地域との交流	30,000円
中央小学校	茶・米づくりを通じた地域との交流、伝統的食文化の学習、高齢者施設・サロンの訪問	30,000円
葉山中学校	茶摘み体験、環境美化活動、地域清掃ボランティア活動	30,000円
東津野中学校	神楽の伝承	30,000円

(3) 災害ボランティアセンター

災害発生時に円滑にセンターの立ち上げができるようにするため行政との協定締結に向けた打ち合わせを行った。また、町内のボランティア団体向けに災害ボランティアセンターの理解促進のため基礎講演会を開催した。

さらに、災害ボランティアセンターの運営の効率化を図るため、サイボウズ社の災害支援ライセンスを試験導入し、災害支援プログラムの操作方法や活用方法について学習した。

＜災害ボランティアセンター基礎講演会＞

開催日：令和7年3月19日（水）

場 所：津野町総合保健福祉センター

内 容：講演1「災害ボランティアと災害ボランティアセンターについて」

講師：さんすい防災研究所

代表 山崎 水紀夫 氏

講演2「高知県内及び石川県能登半島地震の活動状況について」

講師：高知県ボランティア・NPOセンター

所長 間 章 氏

参加者：10名

(4) ボランティア連絡協議会事務局

町内のボランティア関連団体の連絡調整及び情報交換を図るとともに、ボランティア活動の支援の一環として保険加入手続きを行った。

また、ボランティア活動を町民に知ってもらうための第一歩として、ボラ連加入団体の相互理解を深めることを目的とした「ボランティア交流会」を企画・開催した。

■ ボランティア連絡協議会関連会議

<第1回代表者会>

- 実施日：令和6年6月20日（木）
場 所：津野町役場西庁舎
参加者：10団体_8名
内 容：①令和5年度事業報告及び決算報告、監査報告について
②令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について
③役員改選について
④その他

<役員会>

- 実施日：令和6年12月2日（月）
場 所：津野町老人福祉センター
参加者：4名
内 容：①ボランティアまつり（仮称）について
②その他

<第2回代表者会>

- 実施日：令和7年1月17日（金）
場 所：津野町総合保健福祉センター
参加者：12団体_11名
内 容：①ボランティア交流会について
②その他

<「ボランティア交流会」代表者ミーティング>

- 実施日：令和7年2月27日（木）
場 所：津野町老人福祉センター
参加者：10団体_9名
内 容：①ボランティア交流会の詳細について
②その他

■ ボランティア交流会

実施日：令和7年3月9日（日）

場所：津野町役場西庁舎

参加者：57名

内容：①パネル展示による活動紹介
②ステージ発表 [3団体]

■ 保険加入手続き

ボランティア活動保険：13団体_186名

ボランティア行事用保険：29件

■ 24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティーキャンペーン

[窓口募金]

受付期間：令和6年8月1日（木）～9月6日（金）

受付場所：①東会場…社協本所、②西会場…社協支所

[対面募金]

令和6年9月1日（日）に道の駅「布施ヶ坂」で実施予定だったが、台風の影響により中止となった。

[募金額]

津野町会場での募金総額：120,300円

4. 生活課題に向き合う総合相談

(1) 生活困窮者自立相談支援事業【高知県委託事業】

地域住民からの生活課題に対する様々な相談に応じるとともに、複合的かつ困難な課題を抱える相談者に寄り添いながら、関係機関と連携して自立に向けた支援に取り組んだ。

相談受付件数等については、以下のとおり。

- ・ 相談受付件数：23件
- ・ 計画評価件数：12件（継続：7件、終結：5件）
- ・ 計画作成件数：10件（初回：3件、再：7件）
- ・ 支援の状況

月	支援計画				合計	
	作成者		未作成者		実人数	延べ支援回数
	実人数	延べ支援回数	実人数	延べ支援回数		
4月	8	69	7	15	15	84
5月	8	41	8	20	16	61
6月	8	81	9	29	17	110
7月	8	59	9	27	17	86
8月	8	67	9	38	17	105
9月	9	60	8	25	17	85
10月	9	68	7	18	16	86
11月	9	59	7	10	16	69
12月	9	53	9	19	18	72
1月	8	73	5	18	14	91
2月	7	38	6	22	13	60
3月	6	32	8	32	14	64
合計	97	700	92	273	190	973

※支援計画作成者実人数：11人、支援計画未作成者実人数：29人

(2) 福祉サービス利用援助事業【高知県社協委託事業】

障がい等により判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるように福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを専門員と生活支援員が連携して行った。

契約件数等については、以下のとおり。

- 契約件数（令和7年3月末現在）：3件
- 支援回数：54回（生活支援員：42回、専門員：12回）
- 相談件数：40件

（3）生活福祉資金貸付事業【高知県社協委託事業】

経済的な事情により資金の貸付が必要な方の相談に応じるとともに、各種事務手続きの援助を行った。

貸付件数等の状況は、以下のとおり。

- 新規貸付件数：0件
- 相談件数：6件
- 事務手続援助件数：6件（免除申請：5件〔特例〕、住所変更：1件）

（4）弁護士相談会

生活上のあらゆる相談や困りごとについて専門職の意見を聞く場として、法テラス須崎法律事務所及び須崎ひまわり基金法律事務所の協力を得て、無料弁護士相談を実施した。

また、地域の弁護士を身近に感じてもらうことを目的に法律講演会を開催した。

<無料弁護士相談の実施状況>

	実施日	場 所	担当弁護士	相談 件数
第1回	5月21日（火）	津野町老人 福祉センター	三上翔平 弁護士	3
第2回	8月20日（火）	津野町総合保健 福祉センター	小林 徹 弁護士	2
第3回	11月19日（火）	津野町 老人福祉センター	三上翔平 弁護士	2
第4回	2月18日（火）	津野町総合保健 福祉センター	高橋 新 弁護士	2

<法律講演会>

実 施 日：令和6年12月9日（月）

場 所：津野町総合保健福祉センター

内 容：講演「法律^笑講座～身近な弁護士編～」

法テラス須崎法律事務所 小林徹 弁護士

法テラス須崎法律事務所 高橋新 弁護士

須崎ひまわり基金法律事務所 三上翔平 弁護士

参 加 者：27名

5. 在宅生活を支える福祉サービス

(1) 訪問介護事業

令和6年度から町内の訪問介護事業所が本会のみとなったことに伴い、津野町全域を対象として介護保険法に基づく訪問介護サービスを提供した。

居宅介護支援事業所や関係機関と情報を共有するとともに、月に1回事業所内でケース検討会を行い、利用者の状態に応じたサービスが提供できるように心掛けた。

<訪問介護事業の状況>

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供	
				延べ回数	延べ時間数
4月	17	0	0	144	120.25
5月	18	1	1	191	148.75
6月	19	1	1	170	135.50
7月	20	2	0	193	154.50
8月	19	0	0	174	137.75
9月	23	6	0	177	144.50
10月	22	0	2	190	156.25
11月	21	0	0	179	148.75
12月	25	4	2	190	160.00
1月	24	0	0	194	159.00
2月	24	0	2	188	158.75
3月	24	2	0	205	173.00
合計	256	16	8	2,195	1,797.00

(2) 居宅介護・重度訪問介護事業

障害者総合支援法に基づき、障がい者が自立した在宅生活を送れるように、必要な家事援助、身体介護のサービスを提供した。

<居宅介護・重度訪問介護事業の状況>

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供	
				延べ回数	延べ時間数
4月	6	0	0	34	36.50
5月	7	0	0	41	43.00
6月	7	0	1	38	39.50
7月	6	0	0	39	41.50
8月	6	0	0	28	30.00

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供	
				延べ回数	延べ時間数
9月	5	0	0	25	26.50
10月	5	0	0	24	26.50
11月	5	0	0	23	25.00
12月	5	0	0	23	25.00
1月	5	0	0	21	23.00
2月	6	0	0	23	24.50
3月	6	0	0	36	37.50
合計	69	0	1	355	378.50

(3) 訪問入浴介護事業

介護保険法に基づき、訪問入浴サービスを提供した。

<訪問入浴介護事業の状況>

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供 延べ回数
4月	1	0	0	4
5月	1	0	0	5
6月	1	0	0	4
7月	1	0	0	5
8月	1	0	0	4
9月	1	0	0	4
10月	1	0	0	5
11月	1	0	0	4
12月	1	0	0	4
1月	1	0	0	4
2月	1	0	0	4
3月	1	0	0	4
合計	12	0	0	51

(4) 地域活動支援センター【町委託事業】

障がいのある方に創作的活動、レクリエーション等の機会を提供するとともに、社会との交流を促進し、障がい者の地域生活を支援した。

<集いの場の実施状況>

月	わきあいあい広場			わきあいミニ		地活 Room	
	実施日	参加者		実施回数	参加者延べ数	実施回数	参加者延べ数
		障がい者	ボランティア				
4月	23日(火)	9	2	4	13	4	6
5月	22日(水)	8	3	4	7	4	7
6月	20日(木)	7	2	4	3	3	6
7月	12日(金)	10	1	4	6	2	4
8月	台風接近のため中止			3	4	2	4
9月	24日(火)	10	4	4	5	2	1
10月	16日(水)	10	4	4	4	1	1
11月	19日(火)	9	2	2	2	2	2
12月	17日(火)	10	6	2	3	2	4
1月	16日(木)	5	3	2	1	2	3
2月	4日(火)	6	5	4	5	2	4
3月	4日(火)	9	4	4	6	2	5
合計		93	36	41	59	28	47

また、本会の担当部署として、障がい児を対象とした「わくわくふれあいデー」を夏休み期間中に以下のとおり実施した。

- ・ 実施期間：令和6年7月24日(水)～8月28日(水)
- ・ 実施回数：14回
- ・ 参加者延べ数：86人 ※利用実人数：13人
- ・ ボランティア延べ数：54人

(5) 福祉用具貸与・あっせん事業

安全に在宅生活を送ることができるように関係機関とも連携しながら、電動ベッド、車いすの貸出しを行った。相談や搬出入時には丁寧な言葉づかいを心掛けた。月別の利用実人数は、以下のとおり。

月	電動ベッド		車いす	
	長期	短期	長期	短期
4月	16	1	6	7
5月	15	0	5	4
6月	15	0	5	3
7月	16	0	7	5
8月	16	0	6	0
9月	14	0	3	1
10月	15	0	2	0
11月	14	0	2	0
12月	15	0	1	0
1月	13	1	1	2
2月	14	0	1	3
3月	14	0	1	2
合計	177	2	40	27

(6) 生活支援型配食サービス事業【町委託事業】

令和6年度より津野山養護老人ホーム組合と調理委託契約を締結し、西地区の特別食に対応した。利用者は少なかったが円滑にサービスを提供することができた。配達時に利用者が不在の場合は、関係機関等と連携し、安否確認を行った。

<生活支援型配食サービス事業の状況>

区分	月	提供食数	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数
普通食	4月	108	9	0	0
	5月	132	9	0	1
	6月	124	9	0	1
	7月	120	8	0	1
	8月	140	10	3	1
	9月	144	11	2	0
	10月	191	11	0	0
	11月	185	12	1	0

区 分	月	提供食数	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数
普通食	12月	176	13	1	2
	1月	151	12	2	1
	2月	164	12	2	1
	3月	160	13	0	0
	小 計	1,795	129	11	8
特別食	4月	77	5	0	0
	5月	79	5	0	0
	6月	61	4	0	1
	7月	70	3	0	0
	8月	54	3	0	0
	9月	49	2	0	0
	10月	51	2	0	0
	11月	49	2	0	0
	12月	51	2	0	0
	1月	41	2	0	1
	2月	28	1	0	0
	3月	31	1	0	0
	小 計	641	32	0	2
合 計		2,436	161	11	10

6. 福祉団体の活動支援と連携

各団体の事業計画に基づき、それぞれの事業運営が円滑に行われるよう支援した。事務局を受け持っている団体は、次のとおり。

- ・ 津野町民生児童委員協議会
- ・ 津野町老人クラブ連合会
- ・ 津野町障がい（児）者連合会
- ・ シルバー介護士会「ひだまり」

7. 就労継続支援B型事業所の経営

(1) 事業運営

障害福祉サービス就労継続支援B型事業所として、どんぐり農園・作業所里楽を一体的に運営した。管理者1名（兼務）と非常勤職員11名で事業所の運営にあたった。また、経営の安定化を図るため、業務の標準化及び職員体制の検討、組織力の向上等を目的に定期的に職員会を開催し、職員の意識共有を図った。

サービスの利用状況等については、以下のとおり。

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	利用者延べ人数		
				どんぐり	里 楽	合 計
4月	17	1	0	108	186	294
5月	17	0	0	112	184	296
6月	17	0	0	99	166	265
7月	18	1	0	134	179	313
8月	17	0	0	113	145	258
9月	17	0	0	121	151	272
10月	17	0	0	119	169	288
11月	17	0	0	116	158	274
12月	17	0	0	110	157	267
1月	17	0	1	109	129	238
2月	17	0	0	99	141	240
3月	17	0	0	115	152	267
合 計	205	2	1	1,355	1,917	3,272

(2) 就労支援

利用者の障がいの程度や能力に応じて、以下の作業により就労支援を行った。

区 分	作業内容	備 考
どんぐり農園	農作業（花苗・ハナニラの栽培） 公共施設の清掃	かおりの里づくり推進会議から花苗の受注
作業所里楽	クッキーを中心とする菓子製造 公共施設の清掃	葉山中学校PTA活動と連携

(3) 生活支援

個別支援計画に沿って必要な生活支援を行った。また、利用者の体調管理として通所時にバイタルチェックを実施し、必要に応じて関係機関と連携して支援を行った。